



情報開示特集(保育・高齢者・障がい)
 令和2年度 研修報告/地域貢献活動報告/事業報告/決算報告
 令和3年度 研修計画/事業計画/資金収支予算(4~10面掲載)

**巻頭言／サービスの維持・向上を前提に ICT化を
 バランスよく活用し、業務の不断の見直しを** — 2

デジタル化時代に対応、介護現場にもICT(情報通信技術)の導入進む — 3
 ライフステージ 舞夢/サンヒルズ紫豊館

オンライン外国人労働者サポート発表会 — 3

3~5歳児園舎増築の地鎮祭 くるみ愛育園 — 3

新任挨拶 認定こども園正雀愛育園 西島美奈子園長 — 3

「多文化共生保育」について発表 三法人合同研修会で東生野愛育園 — 4

就活支援のPR動画で研修制度の充実訴え 人財確保プロジェクト — 5

先輩からのメッセージ — 4~5
 石濱菜々さん(第二愛育園)/安土晴夏さん(高槻けやきの郷)

子育て支援にもひと工夫 第二愛育園/認定こども園一津屋愛育園 — 6

運行20年、地域に欠かせない福祉バスの車両を更新 岩戸ホーム — 7

入浴設備の改修完了 サンヒルズ紫豊館 特養・デイサービスセンター — 11

楽しく読める新聞づくり 高槻けやきの郷デイサービスセンター — 11

「チョウチョになった!」飼育のサナギが羽化 くるみ小規模保育園 — 11

トピックス — 12

**農育 “すくすく”育つをテーマに実践
 野菜を栽培し命の尊さ、食べる喜びを**

千里丘愛育園は「農育」を実践しています。農育とは4、5歳児を対象にした食育指導の一環で、中坊拓也氏(社団法人 子ども農業サポート)の指導による「農家のせがれプロジェクト(園内農家体験)」です。



農育は「楽しい」から「すくすく」育つがテーマ。野菜を栽培し食べ物への興味を通して食べる喜びにつなぐ取り組みです。キュウリ、ピーマン、トウモロコシなどを栽培中で成長を見守っています。

**畳敷きのランチルームで
 “茶道のおもてなし”学ぶ**

きりん夜間愛育園・第二愛育園の5歳児クラスは4月からランチルームに畳を敷いて茶道作法に取り組んでいます。「年長さんになったらできるんだ」と憧れの茶道です。

3密対策のため和室から場所を移し畳敷きでの歩き方・座り方・立ち方やお辞儀の仕方といった作法の基礎など、子どもたちは正座し外部講師の説明に真剣な表情。7月からお抹茶の点て方、お菓子の食べ方、飲み方など“茶道のおもてなし”を学びます。



**「これピリケンさんや」と大阪名物を作品に
 摂津市介護の日の作品展で銀賞**

せつづ桜苑の特別養護老人ホームは介護の日のイベント「～笑顔を守りたい!摂津の新しい介護様式～」(摂津市主催)の作品展で銀賞を獲得、摂津市役所で森山一正摂津市長から表彰されました(2月8日)。

作品展には同施設のデイサービスセンターと特養のほか、市内16介護事業所が出展、コロナ禍とあってオンライン展示(投票)。作品制作中から「これはピリケンさんやな」「通天閣や」と大阪名物にご利用者とスタッフの会話が弾みました。



**花びらで鮮やかなジュースづくり
 楽しい「遊び」を通し達成感を!**

ココリス(児童発達支援など)の子どもたちは5月、テラスで色水あそびを楽しみました。つじが咲くこの時期、色とりどりの花びらを使いますが、なかなか濃い色水が作れず、ネットで擦ったり、ビニール袋で揉んだりの試行錯誤も楽しみながら花びらが浮かんだ鮮やかなジュースができました。

絵の具を混ぜてオリジナルの色水ジュースづくりにも挑戦。「こんな色になったよ!きれいだね!」と繰り返し行い、「手元を見る・手先を調整して使力が伸びる」など楽しい「遊び」を通して達成感や手先をコントロールして使う力を伸ばしています。



〔法人理念〕

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

〔サービス目標〕

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

〔老人施設経営方針〕

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

〔愛育園経営方針〕

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2021年7月
 【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)
 〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
 TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
 URL. <http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/>

★「ききょう」の由来
 創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



巻頭言



サービスの維持・向上を前提にICT化を バランスよく活用し、業務の不断の見直しを

理事長 高岡 國士

日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進にあり、皆様の多大なご協力とお力添えをいただき感謝とお礼を申し上げます。

また、コロナ禍に対応し介護・保育・障がいなど各部門の業務に従事していただいているスタッフのみなさんの労苦に対し、真に感謝の意を伝えたいと思います。

多様な保育ニーズに応え 「選ばれる園」を目指す

さて、我が国の総人口(日本人と外国人の合計)は2008年をピークに減少基調が続ぎ、令和7(2025)年以降、生産年齢人口が減少する一方で、福祉分野における人財(人材は宝)の確保の必要性が高まっています。保育面では、これまでの女性の就業率は右肩上がりに上昇し、それに伴い保育の申込者数も増加してきましたが、平成29年の待機児童数2.6万人から直近では1.2万人と半減している状況です。成光苑では今後、多様な保育ニーズに応え「選ばれる園」を目指すとともに、質の高い保育により利用者に安心を与える保育士の確保・育成が真に求められるところです。

政府が6月18日に閣議決定した「骨太の方針」では、成長の原動力となる4分野の一つに「少子化対策」を挙げ、「子どもの視点で抜本的に見直す」として保育所待機児童、児童虐待、いじめなどが取り組

みテーマとされています。

外国人技能実習生制度を 導入し高齢施設の地域格差に対応

一方、高齢者等介護面では、生産年齢人口の減少により担い手不足は依然深刻な状況ですが、近年は海外からの入国者が増加し社会増(入国者数が出国者数を上回っていること)が見られ、総人口の減少をある程度緩和しています。社会増は2013年以降始まり2019年の自然減による人口減少の約4割を相殺してきているのが実情です。

こうした傾向は、いうまでもなく近年の外国人労働者の急増によるものが大きいと考えられます。成光苑でも介護・人財の確保は厳しい状況で、経営する施設が所在する都市と地方の「地域間格差」への対応として、外国人技能実習生制度を2019年度から計画的に活用しているところで

す。また、令和3年度の介護障害福祉サービス報酬改定では介護人材確保を反映して、さまざまなサービスの人員配置基準などについて緩和されることになりました。

しかしながら、このことはサービスの質の維持・向上を前提としつつ、2040年を見据え、施設・事業所の人員配置のあり方と同時に、ICT・ITの活用の検討が求められているわけであり、業務負荷の

軽減のため業務や手間などについて不断の見直しを行うことも重要であると考えます。

保育・介護など社会福祉分野のサービス提供は、対人サービスが基本であることからICT・IT化をバランスよく取り入れることで、スタッフの本来の業務に集中専念できる環境を整えることが重要であり、ご利用者・園児などのご家族・保護者へアプローチしていくツールとして工夫、配慮することが望ましいと考えます。

不測の事態にも福祉サービスを 提供し続ける的確な準備を

少子高齢化や制度改定など社会福祉法人を取り巻く社会、生活環境はめまぐるしく変化しますが、社会福祉施設のサービスが中断すると、ご利用者の生活には大きな困難が生じます。自然災害、感染症の蔓延、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、必要な福祉サービスを提供し続けることができる体制を整備できるよう、いわゆるBCP(業務継続計画)を策定し、平常時から的確な準備を行うことが必要であると考えます。

法人として一丸となり、10年後も地域の人が一番頼りにできる社会資源として地域のご利用者・ご家族や社会福祉関係者の皆様の信頼を得られるよう精進してまいりますので、今後も変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

プランター苗植えのキュウリ実る



匂いや断面観察し 小さな発見も

くろみ小規模保育園に隣接の「ながぼそ公園(「ききょう」2019夏号掲載)」で、4月にプランターに苗植えたキュウリが実り、早い夏が訪れました(5月21日)。

コロナ禍もあり、みんなでクッキングはできませんが、獲れたて新鮮な匂いを嗅いだり、触ったり、断面を観察したりと「小さな発見」を楽しみました。地域の方と協力しながらトマト、オクラ、さつまいもの栽培にも挑戦します。

くろみ小規模保育園



「チョウチョになった!」

くろみ小規模保育園でアオムシから飼育していた一匹のサナギが5月24日、立派な蝶に羽化しました。「チョウチョになった!」と登園してきた子どもたちから歓声があがり、真剣に見入る保護者の方も。

子どもたちはアオムシが葉っぱを食べる様子を見るのは初めてとあって興味津々、「ツツツ」触ったりと楽しそう。そのあと、蝶を園外に放ち「ハイパー!」と、ひらひら飛んでいく姿をみんなで見届けました。残っているサナギが無事に蝶になってくれることを祈りつつ…。

認定こども園 正雀愛育園

摂津署員が防犯指導

認定こども園正雀愛育園では3月15日、摂津警察署員(4名)が来園され、3~5歳児を対象に、不審者対応の防犯指導をリモートで行いました。これまでは、園児との触れ合いを通じて関わっていましたが、コロナ対策として園内で場所(ホール・園児、子育て支援室・摂津署員)を分けました。

キャラクター「ゆうかいするぞうくん」が登場の寸劇で「にんげんっていいな」の曲で体操をしたり、



不審者対応についてはクイズ形式で防犯指導されるなど、集中を絶やすことなく学ぶことができました。

「ゆうかいするぞうくん」登場の寸劇でわかりやすく

園庭に卒園児の記念樹

第二愛育園



サクランボが
実ったよ!

第二愛育園では平成30年度卒園児が園庭に植樹したサクランボの記念樹が今年初めて実りました。さっそく5歳児が味覚狩り(5月上旬)。ワクワクしながらの順番待ちで、「あまーい!」「ちょっと酸っぱい」とそれぞれに言いながらいただきました。今年は屋上庭園のワイルドストロベリーもたくさん実りました。イチゴ狩りに出かけることができず残念がっていた子どもたちも園内でのいちご狩りを楽しみ大満足でした。

入浴設備の改修完成 面談室のリニューアルも

サンヒルズ紫豊館 特養・デイサービスセンター



サンヒルズ紫豊館では、特別養護老人ホームとデイサービスセンターの入浴設備改修などの第1期工事が3月15日に完了、また、デイサービスセンターや面談室のリニューアル

も併せた第2期工事も6月28日に完了しました。

入浴設備の仕様は脱衣場から浴室の洗い場、洗い場から湯舟までの移動距離を短くし、手すりの位置も使い勝手に配慮、個別入浴

対応が格段にしやすくなりました。ご利用者からは「新しいきれいな風呂で気持ちいい」「手すりがあるって入りやすくなった」などの感想が寄せられ、さらに入浴を楽しんでいただけるようになりました。

「楽しく読めるものに」 7月末発刊めざし新聞づくり

デイサービスセンター

高槻げやきの郷デイサービスセンター(一般型)は、ご利用者の自立支援を主な目的として、ご利用者とスタッフ協働で新聞作りを行うことになり5月22日、「第1回楽しく新聞作成会議」を開催、利用者4名が参加されました。



編集長はご利用者で元新聞記者、「紙面構成や写真は…」「楽しく読んでもらえる新聞にしたい」など活発な意見が飛び交う有意義な会議になりました。

同会議に参加されていないご利用者からも「新聞名はみんなで投票がいいですね」とか「できあがったら(近所に)配ります」と協力する声があがりました。7月末ごろ発行をめどに進めています、第1号発行が楽しみです。

孫にプレゼントも ショートステイ

ショートステイ

高槻げやきの郷ショートステイ(短期入所)では3月9日、マスクケースづくりを行い20名が参加されました。

「コロナ禍のうっとうしさ」を少しでもポジティブに気分転換してもらおうと企画、桜のシールや赤・ピンク色の和紙を使用、「派手すぎるかな〜」、



個性溢れる
マスクケースづくり

「こんな感じかな?」とご利用者の楽しそうな会話ははずみ、器用な手つきで個性溢れるマスクケースを完成されました。「さっそく自分用に使うわー」とおっしゃる方、お孫さんにプレゼントされる方もおられるようです。

高槻げやきの郷

令和2年度 決算報告

【資金収支計算書】

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	101	1,315	3,735	149	△3	5,297
	支出	34	1,224	3,331	90	△3	4,676
事業活動資金収支差額	66	91	404	59	0	621	
施設整備等収支	収入	0	4	9	0	0	13
	支出	6	76	501	41	0	624
施設整備等資金収支差額	△6	△72	△492	△41	0	△611	
その他の活動収支	収入	63	57	264	7	△243	148
	支出	50	81	265	19	△243	172
その他の活動資金収支差額	13	△24	△1	△12	0	△24	
当期資金収支差額合計	73	△5	△88	6	0	△14	
前期末支払資金残高	321	209	1,715	56	0	2,302	
当期末支払資金残高	394	204	1,628	62	0	2,289	

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

【事業活動収支計算書】

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
サービス活動収支	収益	1	1,300	3,718	136	0	5,155
	費用	35	1,261	3,574	126	△3	4,993
サービス活動増減差額	△34	39	144	10	3	162	
サービス活動外収支	収益	99	18	20	13	△3	147
	費用	2	14	20	5	0	41
サービス活動外収支差額	97	4	0	8	△3	106	
経常増減差額	63	42	144	18	0	268	
特別収支	収益	64	10	182	0	△242	14
	費用	0	17	224	10	△242	9
特別増減差額	64	△7	△42	△10	0	5	
当期活動増減差額合計	127	36	102	8	0	274	
前期繰越活動収支差額	494	780	4,187	46	0	5,508	
その他の積立金取崩額	0	44	84	0	0	128	
その他の積立金積立額	50	62	18	0	0	130	
次期繰越活動収支差額	571	798	4,356	54	0	5,779	

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

【貸借対照表】 成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)
令和3年3月31日現在 単位:百万円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	2,754	流動負債	880
		うち1年以内借入金・賞与引当金	414
固定資産(基本財産)	6,256	固定負債	1,923
その他の固定資産	3,711	負債合計	2,803
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,492
		その他の積立金	1,039
		次期繰越活動収支差額	5,779
資産合計	12,721	純資産合計	9,918

令和3年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業) 単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	4	1,306	3,815	148	△2	5,271
	支出	31	1,188	3,467	92	△2	4,776
事業活動資金収支差額	△27	118	348	56	0	495	
施設整備等収支	収入	0	82	899	0	0	981
	支出	3	117	1,204	39	0	1,363
施設整備等資金収支差額	△3	△35	△305	△39	0	△382	
その他の活動収支	収入	65	9	106	6	△97	89
	支出	0	15	107	14	△97	40
その他の活動資金収支差額	65	△6	△2	△8	0	50	
予備費	0	76	0	0	0	76	
当期資金収支差額合計	35	0	41	9	0	86	
前期末支払資金残高	367	204	1,604	62	0	2,237	
当期末支払資金残高	402	204	1,645	71	0	2,323	

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

ご入居者 ご利用者へのサービスアップ
業務効率化 職場環境の整備も

デジタル化時代に対応
介護現場にもICT(情報通信技術)の導入進む

サンヒルズ紫豊館は5月から、ナースコールがスマホ(スマートフォン)対応となりました。スマホとインカム(インタラクティブコミュニケーションシステム)を介護現場に導入し、ご利用者への介護の質を上げることがもちろん、働きやすい職場環境を整備するというねらいがあります。



同施設は平成8(1996)年開設以来、ご入居者の居室からナースコールをスタッフルームの受信盤で確認してきましたが、ナースコールとスマホを連動したことで、その居室に近いスタッフがすぐに駆けつけることが

スマホとナースコールを連動
インカム導入しスタッフの連携強化

サンヒルズ紫豊館

できるようになりました。インカムについては当初、使用方法に戸惑うスタッフもみられましたが、離れた相手(スタッフ)とのコミュニケーション、ケア中で手を離せない、すぐに報告、連絡相談などがしたい時の利便性やスタッフ間の連携が強化されたことを実感しています。

ケアパレットを導入
ケア記録など情報共有を早く、正確に

ライフステージ 舞夢

ライフステージ 舞夢では2月からケア記録などの情報共有が早く、正確にできるケアパレット(介護記録入力機器)タブレットを導入しました。

同施設では「ほのぼのNEXT(以下「ほのぼの」と記載)」というソフトを使用しパソコンにケア記録を入力していましたが、「ほのぼの」に連動しているケアパレットに入力すればケア記録がパソコンに入力され、音声入力や看護師による処置に必要な状況写真、動画も撮影(添付)できるという



ケアパレット導入に若手スタッフからは「タブレットの方が使いやすい」といった声もあります。これを機に記録などの作業効率化、密の回避など職場環境にも配慮しIOT(モノ自体をインターネットに繋ぎやすい)に活用する試み、ICT(情報通信技術)の浸透を図りたい考えです。

オンライン外国人労働者サポート発表会
ベトナム人技能実習生・留学生12名参加



成光苑高齢者部門は3月15日、グローバル人財プロジェクト活動の一環として、岩戸ホーム(福知山市)とせつ桜苑(摂津市)をテレビ会議システムで結び「外国人労働者サポート発表会」を行いました。参加したのは京都エリア2施設に在籍するベトナム人技能実習生6名と大阪エリア2施設でアルバイトのベトナム人留学生6名。

テーマは「日本に来て感動したこと」「日本と母国の違い、文化・生活習慣など」について習得した日本語でそれぞれ発表。「スタッフは家族のように親身になってくれるので嬉しい」「日本人は家族より仕事大事!」「うどんを“すする音”にビックリした」など率直な感想も飛び出しました。高岡国土理事長は「上手になりましたね。(コロナ禍の)大変な時期に日本に来たと思いますが、体調に気をつけて頑張ってください」と激励されました。

今後も日本語や介護知識などの習得サポートを丁寧に行い、質の高い介護スタッフとして育成を図りたいと考えています。

「スタッフは家族のように親身に」と率直な感想も

3~5歳児園舎増築の地鎮祭
木の温もりある2階建て

くろみ愛育園

くろみ愛育園では3月16日、幼児(3~5歳児)クラス棟の園舎増築工事の地鎮祭が行われました。

世界的な木材不足によりスケジュールが半年遅れていますが、内外観ともに木のぬくもりをコンセプトに木造2階建て建築の基礎工事が進んでいます。

同園は、これまで面積基準などの都合もあって乳児(0~2歳児)保育に特化した保育園でしたが、隣接する土地が確保できたことで園舎増築計画が加速、同一園での幼児クラスへの進級も可能となりました。



近隣の方からは「うちの子もくろみ愛育園に通ってたんよ。やっと5歳まで(受け入れ可能)になるんやねえ」と期待の声も寄せられています。

新任挨拶



認定こども園 正雀愛育園 園長 西島美奈子

「地域に愛され必要とされる園」の
思いをしっかりと受け継ぎたい

4月1日付で認定こども園 正雀愛育園の園長に就任いたしました。当園は昭和52年開設で地域との関りは深く、これまで歴代園長が築き上げられた「地域に愛され必要とされる園」という思いをしっかりと受け継ぐことができるように、スタッフ共々邁進していきたく思います。

園長という立場の重責に戸惑う日々でもあります。皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度 事業計画 10年後も地域の人が一番頼りにできる社会資源としての活動を目指す

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 1.財務管理の体制強化（経営状況の把握、分析）
 - (1)園長検討会・経営企画会議の運営
法人の各部門の経営状況に応じた対策及び財政基盤の安定を図るための経営分析に努めるとともに、効果的・効率的な事業展開にも即時対応することで、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る
 - (2)会計監査人や行政などの法定監査受審による、適正かつ継続的な改善を担保する組織の維持・強化
 - (3)監事監査を含む内部管理体制の充実
- 2.人事・給与管理体制等の強化
 - (1)各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
 - (2)高齢者部門施設長評価の実施（継続）
 - (3)保育部門における園長に対する理事長面談の実施
- 3.業務の効率化に向けた体制の検討
 - (1)各部門におけるICT化の推進
TV会議システム・勤怠管理システム・オンライン会議アプリの導入による業務の効率化
 - (2)法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求

- 4.適正な情報開示による経営の透明性の確保
 - (1)ホームページによる情報開示（現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等）
 - (2)法人広報誌「ききょう」の発行（年3回）による法人情報の公開（事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表）
 - (3)第三者評価受審及び結果の開示（各施設のホームページ等から結果公表）
 - (4)経営協 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示（法人概要、公益的 取り組み等の実施状況、財務情報報告）
 - (5)その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等
- 5.法人本身体制の強化
 - (1)人員配置等の継続的見直し（給与事務の強化）
 - (2)改正社会福祉法に則り、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」について持続可能な体制整備を図りながら取り組むことにより、ご利用者や地域の人々に対する社会福祉事業を展開する主体としての説明責任を果たせるよう、地域共生社会の一員として地域貢献できる法人の在り方を追求する

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- 1.法人理念の周知の徹底（理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知）
- 2.法人70周年記念誌の作成（「近過去10年」を評価し、「近未来10年」を展望する）
- 3.地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開
 - (1)個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、サービスの質の向上を常に念頭に置いた事業の展開
 - (2)時代により変化するニーズ及びその人（子ども、高齢者、障がい者・児）の可能性を伸ばす福祉サービスを展開する
 - (3)各園・施設の現状に応じた福祉サービス向上に向けた活動が継続できるよう計画の策定状況等の確認を実施
- 4.研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より専門性の高いサービス展開を追求する

- 5.サービスの外部監査（評価）の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
 - (1)外部・内務監査における受審状況及び評価結果の確認
 - (2)上記評価結果に基づく改善計画等の情報整理及び検証
- 6.緊急時・非常災害時の組織体制整備
 - (1)防犯や非常災害時を想定した対応や事業継続に係る計画の進捗管理ができる組織体制の整備
 - (2)各施設における新型コロナウイルス感染拡大防止のためのマニュアルの作成及び体制の整備

3. 人財確保と育成・定着

- 人財確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開
- 1.人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた諸規程を改定等整備し、労働環境改善のための活動を助長することにより人財の確保・定着につなげる
 - 2.法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる
 - (1)人財確保に有効なホームページ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）・パンフレット等を活用した求人活動
 - (2)各園・施設及び法人のホームページの採用情報をはじめとする掲載内容の見直し
 - (3)各園・施設のホームページの定期的な更新が行える管理体制の見直し
 - (4)求人に関わるツール（スマホ等）の工夫、求職者への情報提供内容の見直し
 - 3.優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み
 - (1)実習生の受入れ体制の充実（受入れ期間中が法人（園・施設）のアピールの絶好の機会）
 - (2)実習生に対するアンケート調査の実施（採用へつなげる情報収集及び実習の満足度調査）
 - (3)実習元の学校等関係者との連携充実

- 4.各種関係機関との関係構築
 - (1)就職あっせんについての関係構築を目的とした学校訪問
 - (2)学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加
 - (3)施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- 5.次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
 - (1)キャリアパス・ステップアップを具現化できる研修・組織体制の見直し
 - ・神戸大学名誉教授による研修・研究・人財確保に関する助言に基づいた体制の見直し検討
 - ・各部門における幹部職層を対象とした法人幹部研修の企画
 - (2)「和顔愛語」（法人理念・経営方針・大切にしたい想い・求めるスタッフ像）の全スタッフへの周知体制の強化
 - (3)高齢者部門における外国人労働者の受入・育成体制の整備
 - ・採用・育成・定着計画の具体化
 - ・将来の幹部候補を念頭に置いたキャリアパスの構築
- 6.キャリアアップ助成金の申請
 - (1)有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者のキャリアアップを促進労働者の意欲・能力を向上させるため、また、事業の生産性を高め、優秀な人材を確保するために、正社員化コースを中心に申請し、処遇改善の取組を実施（令和2年度に新規申請し、令和3年度も継続）
 - (4)地域の社会的援護を要する人々への支援
大阪：「協力雇用主」制度による刑務所出所者の雇用の準備フォロー

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図る
- 1.地域の福祉ニーズへの対応
 - (1)全園・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開（※詳細は各施設の事業計画参照）
 - (2)地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
 - (3)生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への拠出
大阪：「大阪しあわせネットワーク」
京都：京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」

- 2.保育部門・高齢者部門・障がい部門の種別を超えた連携による各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開
- 3.災害発生時の継続的な支援が可能となる体制の構築
 - (1)365日24時間稼働する社会福祉施設の特性を活かし、福祉避難所の整備と物資の備蓄、
 - (2)スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進する
 - (3)災害派遣福祉チーム(DWAT)への参画（大阪・京都で派遣予定スタッフを選出）

メッセージ



石濱 菜々
第二愛育園
2021年度入社

製作や絵画が大好き
個性が光る作品作りをサポート

—自分のどんな所が
今の仕事に生かされていると感じますか？—

私は、製作や絵画が大好きで、その中でも特に画用紙を使った製作が得意です。いろいろな素材を使って製作を行い、子どもたちの個性が光る作品を作るサポートをしていけるように工夫しています。毎月「クラス全員で協力して

季節に合った壁面を作る」という取り組みをしています。

—学生のみなさんにメッセージを
気になる園があれば、園の見学は多い方がよい
と思います。就職前は不安で心が押しつぶされ
そうでした。担任を持たせてもらっている子ども
たちにとって私は先生（保育者）であり、良き
理解者なんだと考えると、とても楽しく充実した
日々を送っています。「保育士になることができ
て良かった」と心底から思います。

「多文化共生保育」について発表

認め合い尊重し合う心を育て 三法人合同研修会で東生野愛育園

第9回三法人（白鳩会、クムレ、成光苑）合同研修会がオンライン開催され（1月9日）、成光苑から東生野愛育園（大阪市生野区）が「多文化共生保育」について発表しました。

同園は外国籍（韓国・朝鮮・中国・ベトナムなど）の園児が多数在園していることから、「多文化共生の中でお互いを認め合い尊重しあう心を育て」という思いで保育に取り組んでいます。

発表では各国の手遊び、集団遊び、歌などを紹介。また、言葉や文化、風習の違いで起きた保護者対応について

のエピソードも披露。参加の他法人からも「自園にも外国籍の園児がおり、給食に（その国の）メニューを取り入れている日もある」などの意見が聞かれました。保育にもグローバルな視点が必要なることを知る貴重な研修となりました。



千里丘愛育園でリズム研修 「保育士がまず楽しむことが大切」と指導の春本理事

千里丘愛育園は6月9日、春本繁子成光苑理事の指導によるリズム研修を行いました。

午前は、乳児担当スタッフ対象で、1、2歳児と一緒に動きのリズムを、午後には、全スタッフ対象のリズム研修となりました。

春本理事から「一番大切なことは、子どもたちがリズムを楽しめるように、保育士も楽しんで行うこと」と強調され、テンポの大切さやピアノのリズムと動きなどを学びました。

令和3年度研修計画（保育）

キャリアパスをイメージした研修体制を検証し、階層別（新人、中堅、管理者）に区分を見直す。特に、令和3年度は、法人内での各園の交流の場を育成につなげる研修会を新たに設定。

研修名	対象者・回数	内容
愛育園合同研修会	全スタッフ・年1回（新規採用者含む）	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園保育スタッフ及び新規採用者が参加する研修会の実施
保育基礎研修	新人・年1回（年度途中でフォロー）※チューター	各園の副主任・副主任幹が講師となり、①心得・マナー、②平常保育、③記録等の3つのテーマを設定した研修会の実施
幹部研修	幹部・年1回	理事長の想い・成光苑の理念や方針等、原点に回帰することをねらいとして実施
子どもの発達に即した環境設定に係る研修	中堅リーダー	子どもの発達に即した遊びや環境設定について学び、教育・保育の充実・向上を図る
子どもの人権に配慮した保育に係る研修	全スタッフ	子どもを尊重し、子どもの人権擁護について意識を高め、自らの保育を振り返る機会とする
リズム研修	全スタッフ（講師が各園巡回）	子どもへのリズム指導のスキルアップを目的として実施
障がい児研修	全スタッフ（講師が各園巡回）	ココリスと連携し、障がい児の個々のニーズに対応できる専門的知識・対応方法等を獲得する
給食試食会	給食担当者、保育スタッフ・年1回	給食スタッフの交流・情報交換を通じたスキルアップ及び保育スタッフとの連携を強化し、各園における食育の向上を図る
公開保育	各園で調整	法人内の姉妹園の保育現場を見学し、双方が自園の保育を見直す機会とする。
地域子育て支援対策委員会	各園子育て支援担当者・年3回程度	各園の地域子育て支援事業の充実のための見学会、協働活動を実施。地域の子育て中の家庭に対する情報発信のための通信の発行（年2回）等を行う
給食担当者会議	給食担当者・年2回程度	子どもへの食事の提供の充実のため献立等の共有や試食会の機会を確保するとともに、給食担当者の衛生管理体制の確認及び業務の効率化の検討等を行う
保育基礎研修実行委員会	副主任/副主任、中堅リーダー等・年3回程度	保育基礎研修をはじめとし、保育部門の育成体制の構築に係る事項の検討を進める
主任・主幹会議	主任/主幹・年6回程度	「全体的な計画」および保育内容の見直し

令和2年度研修報告（保育）

	研修名	参加者
4月	保育基礎研修（各園内）	新任者
4~5月	幹部研修（エリア別）	幹部
	虐待研修（各園内）	全職位
5月	コロナ対策研修（各園内）	全職位
	スイミング研修（正雀）	各担任等
	子育て支援対策会議①	担当者
	主任主幹会議②	主任・主幹
6月	園長検討会①	園長
	リズム研修（巡回）	新任者等
7月	園長検討会②	園長
	主任主幹会議①	主任・主幹
9月	子育て支援対策会議①	担当者
	園長検討会③	園長
10月	主任主幹会議②（分科会）	主任・主幹
	保育基礎研修実行委員会①	副主任等
11月	園長検討会④	園長
12月	子育て支援対策会議②（摂津）担当者	
1月	主任主幹会議③	主任・主幹
	保育基礎研修実行委員会②	副主任等
2月	三法人研修	幹部
	クムレ実践研究発表会	中堅等
3月	園長検討会⑤	園長
	子育て支援対策会議③	担当者
	主任主幹会議④	主任・主幹
随時	保育基礎研修実行委員会③	副主任等
	障がい児研修（巡回・北摂）	担当者等
	障がい児研修（大阪市内）	担当者等

研修制度の充実・素晴らしさ訴え — 就活支援へPR動画を作成

高齢者部門大阪エリアの 人財確保プロジェクト



高齢者部門・大阪エリアの人財確保プロジェクトは、就職活動をするみなさんを対象に、PR動画をスタッフで作成しました。

動画にはせつつ桜苑の若手スタッフを中心に5名が登場、「社会人としてのマナーもばっちり!」「介護技術も心配なし!」といった成光苑の“売り(アピールポイント)”になっている研修制度の素晴らしさが伝わるように元気に紹介しています。

コロナ禍でWEBでの就職説明会も増えており、PR動画も駆使しながら人材確保に努めたいと考えています。

大阪人間科学大学で 排泄介助のタイミングなど講義

せつつ桜苑特養介護主任の山内さん

せつつ桜苑の山内伸介特養介護主任は1月13日、大阪人間科学大学の時本ゆかり准教授の介護技術5「排泄介助」の授業で講義を行いました。

山内主任は、膀胱内に溜まった尿の量を超音波で測定する機械で測定、データ化・分析することでその人にふさわしい排泄誘導のタイミングを導き出すという取り組みを発表しました。



ICT機器を使用した実際の研究結果とともに、普段の介護で直面する排泄介助の困りごとや感じたことなど、介護現場ならではのエピソードも交えた内容に、学生から積極的に質問する姿が見られました。

先輩からの



安土 晴夏
高槻けやきの郷
2021年度入社

誰もが誰かにとつて大切な人 祖父を思う気持ちをご利用者に

—自分のどんな所が今の仕事に生かされていると感じますか?—
「ご利用者もスタッフも、誰もが誰かにとつて大切な人」。この思いが介護の仕事に生かされていると感じます。認知症で在宅生活の祖父もいつか介護施設に入居する日がくるかもしれません。祖父が日々を穏やかに過ごせるように」と祖父を思う気持ちでご利用者

やスタッフを大切に考えることができる人間でありたいです。
—学生のみさんにメッセージを—
私の記事を読んでくださってありがとうございます。遅くはありません。福祉や介護の仕事への思い、信念を大切に持っていれば、必ず働きたいと思える就職先は見つかります。私は自分の直感を信じ高槻けやきの郷に決め、充実した日々を送っています。希望のステップと出会えることを祈っています。

令和2年度研修報告 (高齢者・障がい)

	研修名	エリア等
4月	ファーストステージ研修I	全体
	人事考課者研修	大阪
5月	ネクストステージ研修II①	施設別
	喀痰吸引研修	大阪
6月	ファーストステージ研修II②日間	京都
	ネクストステージ研修II②	施設別
7月	ファーストステージ研修II②日間	大阪
	喀痰吸引研修(大阪)	大阪
8月	ネクストステージ研修I(オンライン)	全体
	喀痰吸引研修(大阪)	大阪
9月	ファーストステージ研修II	大阪
	喀痰吸引研修	大阪
10月	ファーストステージ研修II	大阪
	喀痰吸引研修	大阪
11月	キャリアアップステージ研修II	大阪
	ファーストステージ研修II	大阪
12月	キャリアアップステージ研修II	京都
	ファーストステージ研修II	京都
1月	キャリアアップステージ研修II(オンライン)	全体
	ネクストステージ研修III(オンライン)	全体
2月	ネクストステージ研修I(オンライン)	全体
3月	ファーストステージ研修III(オンライン)	全体

毎月実施 経営品質向上活動PJ会議

令和3年度研修計画(高齢者・障がい)

人事システムガイドの基本的な担当職務・職務責任の要件に基づき、各職階層に求められるスキルの習得及びスタッフの就業意欲の向上を目指す。

研修名	対象者・期間	目的・内容
ファーストステージ研修I-II	入職1年未満の新任スタッフ ※I:①主に新卒者 ⇒4当初に実施 ②中途採用者対象 ⇒10月頃実施 ※II:年3~4回地域別で実施	・研修I:福祉人・職業人・組織人としての在り方、求められる人材像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・研修II:法人の仕組み、活動の基礎、人権擁護、リスクマネジメント、介護技術等
ファーストステージ研修III	ファーストステージ研修I-IIの受講者 ※III:各施設で設定	・研修III:1年間を振り返り内省と成長の促進 2年目へのステップアップ
ネクストステージ研修I~III	概ね2年以上の経験のある者(先輩スタッフとして新任を育成・サポートする者)	・OJTの主体者として育成に貢献できるスタッフ ・新任職員を指導するための教授法 ・チームでの良好な関係構築や部下指導のためのコミュニケーションスキルの習得
キャリアアップステージ研修I-II	※I:ネクストステージ研修修了者~6等級で役職に就いていない新任スタッフ育成担当者 ※II:主任・係長・施設長が推薦するスタッフ ※III:施設長・部長・課長	各等級に求められる課題分析手法や知識の習得 ・研修I:チーム内における部下育成担当者としての役割認識、ファーストステージプログラムの仕組みの理解と評価。 ・研修II:チャレンジシートの目的理解とチャレンジシートを用いた指導育成面談技法の実践 ・研修III:法人本部主導で設定した研修テーマ等に基づき、管理職としての資質・見識の向上

令和2年度 事業報告 コロナ感染予防の徹底や対策に全力、サービスの在り方にも見直しを図る

社会福祉法人 成光苑は、保育部門の千里丘愛育園を開設以来、令和2年度に70周年を迎え、記念すべき1年となるはずであったが、新型コロナウイルスのパンデミックにより、当法人においても総力をあげて

の感染予防対策の徹底や発生時の対応に全力で取り組み、これまでのサービスの在り方についても見直しを図る必要性に迫られ続けた一年となった。

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)**
 - 経営企画会議の運営
法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析に努めた(年6回)。また、効果的・効率的な事業展開にも即時対応することで、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図った。
 - 会計監査人や行政などの法定監査受審による、適正かつ継続的な改善を担保する組織強化
 - 監事監査を含む内部管理体制の充実
 - 令和2年度は、保育部門の人件費(特に派遣スタッフに係る費用)が急激に増加しており、次年度については、各園の体制表を毎月法人本部に提出する等、管理体制について見直しを行った。
- 人事・給与管理体制等の強化**
 - 各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
 - 高齢者部門施設長評価の継続実施(2017年度~)
- 業務の効率化に向けた体制の検討**
 - 各部門におけるICT化の推進
 - TV会議システム・勤怠管理システムの導入による業務の効率化
 - 「ZOOM」(会議アプリ)のライセンス取得によるリモート会議・研修の効率化の実現
 - 法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
- 適正な情報開示による経営の透明性の確保**
 - ホームページによる情報開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等)

- 法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による法人情報の公開(事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表)
 - 第三者評価受審及び結果の開示(各施設及び法人のホームページ等から結果公表)
 - 経営協 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示(法人概要、公益的 取り組み等の実施状況、財務情報報告)
 - その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等
- 5. 法人本部体制の強化**
- 人員配置等の継続的見直し(副理事長職を新設)
 - 改正社会福祉法に則り、持続可能な取組を伴う体制整備として、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」に取り組むことにより、ご利用者や地域の人々に対する社会福祉事業を展開する主体としての説明責任を果たし、地域に貢献できる法人の在り方を追求した。
 - 法人ホームページの全面リニューアル
- 6. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた体制の検証・構築**
- 国や府・市町村からの通知等、情報収集を行い最新情報の把握に努め、全部門への周知 徹底とマニュアル等による体制強化について、各種会議を通じ検討要請
 - チェックリストによるスタッフの健康状況の把握と感染予防に努めた
 - コロナ禍においても事業を継続する必要があることから、コロナ禍の会議・研修体制の再構築のため、ZOOM(会議アプリ)を新規導入
 - 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業等の活用

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知)
- 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開
 - 個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、サービスの質の向上を常に念頭に置いた体制整備と各種事業を展開した。
- 研修・マニュアル等の内容を見直し、より専門性の高いサービスを展開する
 - 各種研修・検討会等により専門性の高いサービス提供に努めた。
※研修内容等の詳細について、「3. 人材確保と育成・定着」参照
- サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
 - 実施状況や受審に向けた体制確認及び結果・改善計画等の情報整理及び検証

- 各園・施設の現状に応じた福祉サービス向上に向けた活動が継続できるよう計画の策定 等の確認を継続実施
- 防犯体制や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画(BCP)の立案検討ができる組織体制の整備
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組みとして、新規マニュアルの作成や受け入れ体制の構築に努めた。
 - 自然災害だけでなく、感染症に伴う緊急事態発生時にも対応できるBCPの見直し
 - 各部門におけるサービス提供体制の見直し

3. 人材確保と育成・定着

人材確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開

<人材確保活動結果>

○採用者数
(令和2年4月1日~令和3年3月31日の新卒及び一般は復職・新規(中途含む)・昇格の正規採用者)

	四大卒	短大・専門卒	高卒	一般	合計
保育部門	1	3	0	7	13
高齢者部門	3	3	2	1	94
障がい部門	0	0	0	4	4
合計	6	9	0	96	111

- 処遇・労働環境の改善(※活動の詳細は各部門に記載)**
 - 人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた体制を整備し、労働環境改善のための活動を展開することにより人材の確保・定着につなげた。
 - 部門別に離職率の算出(4/2~3/31離職者÷4/1職員数)。高齢者・障がい部門は、前年度比-0.2%、保育部門は、前年度比-6.0%の結果となった。
- 法人として次のとおり、求人活動内容全般を見直し、人材の確保に努めた**
 - 求人活動に有効なホームページ・インターネット・フレット等による求職者への情報提供
 - 各園・施設及び法人のホームページの統合化により求人情報をはじめとする掲載見直し
 - 各園・施設のホームページの管理体制の見直し、定期的な更新を行える体制づくり

- 優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み**
 - 実習生の受入れ体制の充実(受入れ期間中が法人(園・施設)のアピールの絶好の機会)
 - 実習生に対するアンケート調査の実施(実習生の求職ニーズを分析し、採用へつなげた)
 - 実習元の学校等関係者との連携充実
- 各種関係機関とのネットワークづくり**
 - 就職あっせんについての関係構築を目的とした学校訪問
 - 学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加
 - 施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
 - 高齢者部門における外国人材の受入・育成体制の整備

- 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化**
 - キャリアパス・ステップアップを明確化できる研修・組織体制の追求
 - 神戸大学名誉教授による研修・研究・人材確保に関する助言を通じた体制の推進
 - 各部門における幹部職層を対象とした法人幹部研修の企画
 - 採用・育成・定着計画(将来の幹部候補を念頭に置いたキャリアパス)の進捗管理
 - 「和顔愛語」(法人理念・経営方針・大切にしたい想い・求めるスタッフ像)の全スタッフへの周知体制の強化
 - 高齢者部門における外国人労働者への受入・育成体制の整備
 - 採用・育成・定着計画(将来の幹部候補を念頭に置いたキャリアパス)の進捗管理

エリア	種別	人数	国籍	今後の課題等
京都	技能実習生	12名	ベトナム、フィリピン	入退職の定数管理に留意
大阪	留学生	8名	ベトナム	令和3年度卒業後の入職に向けた環境等の整備

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる展開を図る

- 地域の福祉ニーズへの対応**
 - 全園・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
 - 地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
 - 生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への拠出
大阪:「大阪しあわせネットワーク」
京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」

- 地域的社会的援護を要する人々への支援
大阪:「協力雇用主」制度による刑務所出所者の雇用の準備フォロー
- 災害発生時の継続的な支援が可能となる体制として、365日24時間稼働する社会福祉施設の特性を活かし、福祉避難所の整備と物資の備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進した
- 保育部門・高齢者部門・障がい部門の種別を超えた連携による各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開

地域、ご利用者の欠かせない“足”に

岩戸ホーム(福知山市)では20年間にわたり「福祉バス」(ききょう2014秋号掲載)を運行していますが、4月1日から新たな車両に更新、快適な乗り心地を楽しみながら移動手段として利用されています。

この福祉バスは平成13(2001)年、日本財団福祉車両助成事業からマイクロバスの寄贈を受け、公共交通空白地有償運送(旧過疎地有償運送)に基づく車両として運行開始、現在では「かものシャトルバス」の名称も定着、同施設から市内のショッピングセンター・病院・役所などを平日1日4回巡回、月延べ150名ほどの方がご利用されています。今回、地域自治体(かものバス運営委員会など)のご協力もあり、車両の更新を図ったものです。地域住民や同施設ご利用者の“生活に欠かせない足”として活躍が期待されます。



運行20年、地域福祉バスの車両を更新

岩戸ホーム

豊富な品揃えに「これもええなあ」
次回から地域の方やデイサービスご利用者対象も

衣料品など出張販売

次回から地域の方やデイサービスご利用者対象も

岩戸ホームは6月14日から3日間、喫茶コーナー「憩い」の場を利用して衣料品などの出張販売を行いました。

出張してくれたのはワークショップオオツキ(兵庫県丹波市)。商品は洋服・靴・下着・ハンカチ・シャツ・クッションなど色とりどり、サイズも豊富な品揃え、さながら“出張デパート”。「これもええなあ」と品定めしながら買い物をするご入居者の会話はずみ、笑いがこぼれました。



次回にはデイサービスのご利用者や地域にお住いの方にも来ていただける企画を考えています。コロナの影響から外出の機会が減り、地域や社会との関わりが希薄になりがちなご入居者への配慮も企画のねらいの一つ。コロナ禍が終息し、安心して外出できる日を願いつつ…。

食品ロス削減に協力

閉店後のパン屋さんから安価でパン

吹田竜ヶ池ホーム

吹田竜ヶ池ホームでは近隣のパン屋さんから提案があり、閉店後のパンを週に1~2回安価で購入しています。食品(フード)ロス削減推進への協力依頼ということですが、スタッフにとっても安くパンが食べられるし、店にとっても即完売という状況です。

国連サミットで採択された「SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)」の関心が高まっています。ささやかではありますが、パン屋さんの取り組みを通じて協力できればと思っています。

- 【交通空白地の移動支援・有償運送】
- 【相談援助活動へのスタッフ派遣】
- 【小中学生の社会福祉体験学習受け入れ】
- 【高齢者世帯などへ配食サービス】

令和2年度地域貢献活動報告

- 【臨床心理士と連携イベント開催】
- 【コロナ対応家庭で楽しむ遊び提供】
- 【園の季節行事に地域の親子招く】
- 【園児相談窓口の設置(来所・電話)】

高齢者部門 ※一部、生活介護含む	保育部門 ※一部、児童発達支援含む
【地域に焦点を当てた事業展開】	
<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者の移動支援の取り組み(過疎地域有償運送)の運行(4往復/日) 延べ利用者数:827名(地域利用441名) 福祉有償運送(移動困難者に対して安価での移動支援)の運用 地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施(イルミネーション事業等) 地域高齢者の居場所づくり(クラフト教室等)は、利用者を事業所内に限定する等して実施。 リハビリ機器を利用した訓練の実施等施設資源の開放についてはコロナ感染拡大防止のため中止 地域交流スペースの喫茶は予約制にして一部運営 車椅子や施設用品等の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室での年齢に応じた遊びの提供(製作、リズム、絵本の読み聞かせ等) 各園の保育室、園庭、絵本室等の開放、絵本の貸出 近隣の公園や公民館、小学校等での地域の親子への遊びの提供、イベント開催 園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催 臨床心理士(ココリス児童発達支援)と連携したイベントの開催 赤ちゃんの駅(おむつ替えや授乳ができる施設)の登録
【地域における福祉推進】	
<ul style="list-style-type: none"> 施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知 認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設 相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施 民生委員等との連携(交流勉強会への参加等) 介護職員初任者研修事業の講師派遣(京都のみ) 外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣 農閑期の閉じこもり防止を目的としたサロン活動の実施 状況に応じて地域ボランティアの受入及び交流会等の実施 認知症サポーターキッズ養成講座の開講 小学生の福祉教育実習や職場体験等の受入 次世代育成のための小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入 子ども110番運動への参画 介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入 子ども食堂は、コロナ禍のため中止 	<ul style="list-style-type: none"> 育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布 コロナ禍で家庭で過ごす時間が増えることを踏まえた家庭で楽しめる遊びの提供(ホームページへのアップ) 育児相談員およびスマイルサポーター(大阪府知事認定)による育児相談窓口の設置(来所・電話等) 保育士等による専門性を活かした講座の開催 地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画 一人暮らし高齢者宅の訪問(七夕飾り等の寄贈) 保育士養成校からの保育士養成実習の受入
【社会的援護を要する人々への支援】	
<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入(0名) 協力雇用主制度による刑務所出所者の雇用に向け協力雇用主として登録(相談受付まで、受入には至らず) 高齢者世帯及び生活困窮母子家庭世帯への配食サービス 社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業の実施 通所サービスの時間外での受入、食費負担軽減 地域の高齢者からの通報への対応(24時間365日) 虐待・DV避難ケース等の緊急受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 日本財団「夢の貯金箱」(自動販売機の飲料売り上げのうち10円を寄付)の全施設設置 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出及び大阪全施設にCSWを配置。 生活困窮者等に対する相談支援事業及びCSWの配置・養成 京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画(基金への拠出等) 障がい者雇用の促進及び職場体験実習の受入(関連機関とのサポートカンファレンスはコロナ禍のため中止)
【国際交流】	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の在日外国人(フィリピン、中国)の雇用及び体制整備 雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会(つぼみの会)等の実施 在日外国人への各種資格取得に係る申請手続きの支援 グローバル介護職員初任者研修の開催 介護技能実習制度の導入に当たり関連機関との情報共有等 ベトナム人留学生・技能実習生の受入・育成体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 多国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援 異文化交流を目的とした近隣の小学校等との連携はコロナ禍のため中止
【地域団体などとの連携の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 市、市医師会等と連携し地域包括ケアシステムの構築(地域ケア会議への参画等) 地区の福祉推進協議会や施設・事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣、イベントへの参画 地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画 校区的PTAとの協働、自治会活動へのスタッフ派遣 ボランティア団体との懇親会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携(交流会の開催等) 中学校区における地域教育協議会への参加 小学校地区における関係団体との連携した行事の開催 市の保健師と連携し、講座の開催や地域の児童の身体測定等の実施
【災害支援・環境対策】	
<ul style="list-style-type: none"> 自治会等地域との総合防災訓練の実施、防災協定の締結 FM舞鶴と提携し、送受信設備の施設敷地内の設置及び災害発生時の被害情報提供体制の確立 5法人間での防災協定の締結 地域の福祉避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築 厨房委託業者との災害支援協力体制整備 京都府災害派遣福祉チーム員として災害対策に関する講義の実施 大阪府災害派遣福祉チーム員のステップアップ研修の受講 一人暮らし高齢者宅の防火訪問 地域の除雪作業の支援 グリーンカーテンの栽培、涼やかスポットの設置等 	<ul style="list-style-type: none"> 5法人間での防災協定の締結 近隣の草抜き・清掃活動への参加 牛乳パック、ベルマーク、エコキャップ運動の実施 グリーンカーテンの栽培 全園における節電活動 エコ育の更なる充実 日本赤十字共同募金への募金
【独自の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 京都府高齢者あんしんサポートハウス(低所得者に対応した家賃設定)の運営 地域の空家の高齢者の住まいとして活用に係る体制構築 外国人介護人材発掘のための関連機関との検討会等の実施 配食サービスの提供および可否確認 介護保険外での一人暮らしの高齢者への支援(緊急通院の付添、家事援助等) 	<ul style="list-style-type: none"> 365日型(日曜・祝日保育、年末年始)保育が実施できる体制の構築 地域の待機児解消に向けた事業展開の検討(増築等による定員増)

親子で楽しめるWEB動画配信

第二愛育園

第二愛育園は地域の子育て支援の一環として、WEB動画の配信を始めました。5月中旬から予定の「育児教室」を緊急事態宣言に伴いWEB動画に切り替えたものです。

動画は手遊び(写真)・ペープサート・手袋人形・触れ合い遊びなど10分間と短時間ですが、親子で楽しんでほしいとの願いで制作。視聴されたお母さんから「触れ合い遊びで膝に乗り“やってほしい”と催促されました」「映像の先生(保育士)に笑いかけたり、手を振っていました」と好評でした。

これからの子育て支援の在り方を工夫するきっかけになりました。



手袋人形や触れ合い遊び

家庭でできない「あそぼう会」

認定こども園一津屋愛育園

臨床心理士の保護者相談対応
サーキット遊びや楽器遊び



認定こども園一津屋愛育園は子育て支援の「あそぼう会」を実施しました(3月3日と17日、4月22日)。家庭では経験できない遊びを楽しんでもらうためマット、鉄棒、巧技台などを使ったサーキット遊びや模造紙に野菜のスタンプ(写真)、楽器遊び、絵本講座などメニューも多彩。広い遊戯室は和やかな雰囲気にも包まれました。

ココリス(障がい福祉サービス)の東川慶子臨床心理士も来園、保護者からの相談に対応。「親子で身体を動かせ楽しめた!」などコロナ禍のストレスも少しは和らいだでしょうか。

子育て支援にもひと工夫